



■ 世界の見方を変えてみる

先日、「うちの子、勉強しないんです」「どうやったら勉強するようになりますか」と、保護者の方から心配の声をいただいたそうです。

「勉強しなさい」と言う。私自身も自分の子供に言うてしまうことがあります。しかし、大体が逆効果に終わり、親としての不安も解消されずじまいだった経験があります。皆さん自身が「しよう」と思わない限り、何事も身につかないことは、皆さん自身がよくわかっていると思います。

教員として、学習を勧める場面が多いですが、たとえ仕事でなくても、私自身が学ぶことを楽しいと思っています。ただし、この楽しさ、どうしたら伝わるのか、伝え方を試行錯誤して失敗したり時に成功したり…。答えを探り続けています。

「学び」とは「真似び」であり、「わかる(分かる)」は「かわる(変わる)」。

聞き慣れた言葉でしょうか。出会ったことがないものに出会ったとき、知らないことを知った時、世界の見方は少し変わる。私自身はその喜びを求めて学びを止めずにいるのかもしれない。

山のあなたの空遠く

「^{さいは}幸」ひ住むと人のいふ。
^{ああ}噫、われひとと^と尋めゆきて、
涙さしぐみ、かへりきぬ。

山のあなたになほ遠く

「^{さいは}幸」ひ住むと人のいふ。

—カール・ブッセ作／上田敏訳

幸いへの憧憬が印象的な詩です。私が好きな所は、①誰かと共に山の向こうへ「幸い」を実際に探しに行った所。そして、②山のあちら側の人から見たら、こちら側が「山のあなた」であり、「いま・ここ」に「幸い」が

あるかもしれない、という見方もできるという所です。もしいま、点数がとれない・やる気が出ない・時間がない…などで学ぶ意義を見失っている人がいれば、このような角度から、「学ぶということ」を考えてもいいかもしれませんね。

■ 前期中間考査 2週間前

17 日の土曜学習日での講話（裏面参照）を繰り返しますが、**試験前 1 週間の有効活用できるか否かは、2 週間前の「整理」がポイントとなります。**中学校と比べて、科目数が多いです。

考査 1～2 日前で対応できていた、(あるいは「対策プリント」なるもので点数をとれていたなんてことも?) 中学校までとは質・量ともに格段に差があることを先に伝えておきます。覚悟と準備を万全に挑みましょう。

定期考査は「覚えたことを出す機会」ではなく、「覚えたことを使う機会」。4 月からの自分の授業への取り組み方、自主学習の質と量が、求められているレベルに適するものなのかをチェックする。そして、考査後のやり直しまでが 1 セットです。

前期中間考査 時間割	6/6 (金)	【1】英語G (60 分) 【2】化学 (40 分) 【3】LHR
	6/9 (月)	【1】現代の国語 (60 分) 【2】歴史総合 (40 分) 【3】LHR [アンケート]
	6/10 (火)	【1】数学 I a (60 分) 【2】生物 (60 分)
	6/11 (水)	【1】言語文化 (60 分) 【2】物理 (60 分)
	6/12 (木)	【1】数学 I b (60 分) 【2】英語R (60 分)

<試験を受ける際の主な注意事項>

- ✓試験には厳正な姿勢でのぞむ。机の天板に書いてあるもの、手に書いてあるメモ等は全て消す。机の中は空の状態に。前の時間の試験問題も残しておかないように。
- ✓携帯電話・スマートフォンは電源を切って**鞆の中になおす**。
- ✓荷物は全て鞆になおし、椅子の下に入れる。机や教室後方のフックは使用不可。
- ✓チャイムの鳴り始めが試験の開始と終了。終了時は即座に筆記用具を置く。

■ 第78回 体育祭

来週には体育祭がありますね。雨でなく、暑すぎず、爽やかな初夏の風に吹かれるような天候を期待しながら（恵まれすぎでしょうか）、各団の士気を上げる応援団演技について、応援団に出る1年生に、見どころを紹介してもらいました。

赤団(3・4・7組)

「ノリやすい曲と、放射状に広がる動きが見どころです。『The 応援団』ってかんじです！」

黄団(1・8組)

「太鼓の時にウェーブがあるので、波にのってください！」

青団(5・9組)

「曲調とフォーメーションがめまぐるしく変わるダイナミックさをご覧ください！」

緑団(2・6組)

「最初のかけ声でテンションをブチアゲます！ 踊りやすい振付なので一緒におどってみよう」

インタビューへの協力ありがとうございます。本番に向けてがんばってくださいね。

また、天候との兼ね合いで順延やプログラム短縮等になるかもしれません。柔軟かつ機敏に対応するには、普段からの準備が肝心です。

■ 当面の予定 手帳にメモしよう！

23日(金) 前期中間考査2週間前

27日(火) 体育祭 ※天候による、掲示確認

30日(金) 前期中間考査1週間前

31日(土) 土曜学習日⑤

6月

6日(金)～12日(木)前期中間考査

9日(月) LHRにてchromebookが必要
進路保護者説明会

(14時～松原市文化会館にて)

12日(木) ミラクルチャレンジ説明会、
救急安全講習会 (体育館)

13日(金) 午前授業 (A金1～3)

19日(木) 文理選択説明会①

24日(火) プチベーシック前日のため
1・2年生は部活動なし

25日(水) プチベーシック①

26日(木) 芸術鑑賞 (劇団四季劇場)

「初めての定期考査に向けて」

(1) 「定期考査は計画が大事」

① 高校生になってから、やるが増えた！

情報の整理には手帳を使える。現時点で全教科をすべて理解しきれているか。自分が理解できていないことを理解するまでにどれくらいの時間がかかるか、分析してみよう。

② 定期考査へのスケジュール感とは？

日々の小テストに向けていつから学習しているか。そして、その小テストの出来はどうか。直前で向きあっているなら、それは短期記憶として確実に身につけていない。1日かけて向き合っているのなら、その数ページの範囲から、定期考査は何十ページに広がる。どう考えても一夜漬けなどでできる範囲ではない。「これまで勉強してきたこと」を元に自分の現在地を確認し、「これからどうするか」を考えよう。

得意なことはどんどんできる、苦手なことから逃げてしまう気持ちはわかるが、その行動をとるとどんどん学力は下がっていく。

先日「過去の受験生の後悔第1位」を見ても、何もやらないでいられるか？ わからないことはその日その週のうちに解決することが必要。問題を改めて解き直す、友達や先生に質問する…今すぐに取り組めることはたくさんある。

(2) ^{アイブラ}I+1で「生野ベーシック学習時間を達成している、ある80期生」の学習習慣とは

① 教科・取り組み内容ごとに、取り組む時間を決めている

たとえば、暗記系は夜に。国語・英語・数学など考えなければいけないものは、リラックスできる時間帯に取り組む。「スキマ時間」をスマホ時間にするのではなく、単語暗記などに活用。

② 計画を立てるからこそ、切り替えしやすい

何か一つ終わるごとに「次は何をしよう」「これをやらなきゃ」とその場その場でやることを考えていると、本当にやるべきことが後回しになってしまう。

「今日絶対にやらなければならないこと」「締切は少し先だがやっておくことと後々楽なもの」「今は特段急がなくてもいいこと」をリストアップし、自分の中で優先順位を設けることが大事。

学習習慣を教えてくれたある80期生も、いきなり計画的に学習できるようになったわけではなく、少しずつチャレンジして習慣化していったそう。みんなそれぞれ生活リズムも違うので、まず自分の生活リズムを分析しよう。そして何より、取り組み始めたことを習慣化することが大切。自己分析から自分の学習習慣の形成を。

(講話・ 、記録・)